

# 海外経済交流の促進に関する提言

平成27年3月20日

鹿児島県議会

## 海外経済交流の促進について

### 1 提言の背景

県内の経済活性化のためには、海外との経済交流等を一層促進することが重要であるとの認識のもと、当特別委員会においては、平成26年度、アジア諸国等との人的交流に関する事、海外からの観光客の誘客促進に関する事、海外との文化・芸術、青少年の交流促進に関する事を重点事項として調査するとともに、昨年8月には台湾・香港における観光や文化交流等の状況について、現地での調査を実施した。

さて、本県は、本土最南端に位置し、その地理的条件から、歴史的に外国との交流の門戸として重要な役割を果たしてきたが、現在においても、環黄海経済圏の諸国・地域を中心に、観光をはじめ文化・芸術や青少年など諸般の交流が行われている。なかでも、香港、シンガポール、韓国全羅北道や中国江蘇省とは、定期的な交流会議等が行われており、その継続・発展や鹿児島空港発着の国際定期路線で結ばれている国・地域との人的交流の促進は、極めて重要である。

また、青少年期における外国人との様々な交流は、国際感覚を養う上で極めて有効であり、次代の産業・経済界をリードする国際的な人材の育成に資するものである。

国においては、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、平成32年に訪日外国人旅行者数を2000万人とする目標を掲げており、本県でも外国人観光案内所、無料Wi-Fi環境の整備等をはじめ、県民のおもてなしの機運醸成などハード・ソフト両面での受入体制の整備が急がれる。

以上の観点から、次のとおり提言する。

## 2 提言

### (1) アジア諸国等との人的交流の促進

- ・ 定期的な交流会議等を行ってきた香港，シンガポール，韓国全羅北道及び中国江蘇省のほか台湾との人的交流については，これまでの実績も踏まえ，その継続・発展に努めること。
- ・ アジアかごしまクラブや在外鹿児島県人会など本県にゆかりのある外国人等との人的ネットワークの構築・強化に努めること。
- ・ 県民の国際感覚を養うため，本県在住の外国人と地域の人々との日常における交流機会の創設・充実や気軽に海外旅行に行けるような環境整備や機運の喚起に努めること。

### (2) 海外からの観光客の誘客促進

- ・ 鹿児島空港発着の国際定期航空路線の更なる利用促進や海外クルーズ船及び国際会議・国際展示会等の積極的な誘致を図り，外国人観光客の誘致（インバウンド）に努めること。
- ・ スポーツ施設の整備充実を図り，海外からのスポーツキャンプ・合宿の誘致促進を図ること。
- ・ 外国人観光案内所，多言語対応のアプリ・ホームページ，無料 Wi-Fi 環境，決済（両替）環境の整備のほか，レンタカーなどの二次交通の充実など受入体制の整備や県民のおもてなしの機運の醸成に努めること。

### (3) 海外との文化・芸術，青少年の交流促進

- ・ 霧島国際音楽祭をはじめとする文化・芸術や，スポーツなどを通じた環黄海経済圏との文化・芸術等の交流促進に努めること。
- ・ 中国の清華大学との包括協定に基づく交流やアジア諸国・地域を中心とした青少年の交流の更なる充実・発展に努めること。
- ・ 地域や教育現場における外国人との交流機会の創設・充実に努めること。

# 1 アジア諸国等との人的交流の促進

## (1) 交流会議等

交流会議等名	開始年	開催数	直近の会議等における主な合意事項
鹿児島・香港交流会議	S55	19回	・青少年交流，芸術文化交流，民間レベルの交流促進，観光交流等
鹿児島・シンガポール交流会議	S57	17回	・青少年交流，芸術文化交流，民間レベルの交流促進，観光交流，植物園の交流等
鹿児島県・全羅北道交流協議会(※)	H21	3回	・青少年交流，芸術文化交流等
鹿児島県・江蘇省交流協議会	H10	17回	・海外技術研修員の受入，専門家の派遣等

※ 全羅北道との間では，H 6～H19，「鹿児島・全羅北道交流会議」を8回開催

## (2) アジアかごしまクラブ，在外県人会

### ① アジアかごしまクラブ

クラブ名	設立	会員(H26.5 現在)
香港かごしまクラブ	H11.1.11	360人
かごしまクラブシンガポール	H11.1.13	124人
全羅北道かごしまクラブ	H11.3.22	198人

### ② 在外鹿児島県人会

地域	県人会数	備考
アジア	11	北京，上海，深圳，香港，台湾 ほか
北米	11	サクラメント，南カリフォルニア，ハワイ ほか
中南米	6	ブラジル，アルゼンチン，パラグアイ ほか
ヨーロッパ	4	フランス，スペイン，イタリア，イギリス
計	32	

## (3) 在留外国人数の推移

(単位：人，%)

	H21	H22	H23	H24	H25
本 県	5,897 (3.2)	6,193 (5.0)	6,284 (1.5)	6,317 (0.5)	6,443 (1.9)
全 国	2,186,121 (△ 1.4)	2,134,151 (△ 2.4)	2,078,508 (△ 2.6)	2,033,656 (△ 2.2)	2,066,445 (1.6)

\* ( ) は対前年伸び率

(法務省在留外国人統計より)

## (4) 都道府県別有効旅券の保有率

### ① 全国の状況

順位	都道府県	有効旅券数 (H25.12 末)	推計人口 (千人)	保有率 (%)
1	東京	4,827,532	12,979	37.2
2	神奈川	2,976,925	8,956	33.2
3	千葉	1,791,232	6,114	29.3
~~~~~				
<b>4 4</b>	<b>鹿児島</b>	<b>203,062</b>	<b>1,674</b>	<b>12.1</b>
4 5	秋田	109,739	1,047	10.5
4 6	岩手	133,086	1,290	10.3
4 7	青森	122,936	1,333	9.2

\* 保有率＝有効旅券数／推計人口

\* 推計人口は平成 25 年 10 月 1 日現在の日本人の合計

【出典】有効旅券数：外務省，推計人口：総務省

### ② 九州各県の状況

(単位：%)

県名	福岡	佐賀	沖縄	熊本	大分	長崎	宮崎	鹿児島
保有率	23.9	17.1	16.5	16.4	15.9	14.2	12.6	<b>12.1</b>

\* 保有率の算定は、①に同じ。

## 2 海外からの観光客の誘客促進

### (1) 鹿児島空港発着の国際定期航空路線の利用率

(単位：%)

路線名	H22	H23	H24	H25	H26
ソウル線	75.8	68.7	68.8	62.9	61.3
上海線	65.1	55.4	47.5	57.2	53.6
台北線	—	—	65.2	65.6	69.8
香港線	—	—	—	—	80.8

### (2) 海外クルーズ船の入港状況

(単位：回)

港名	H22	H23	H24	H25	H26
鹿児島港	52	18	34	23	33
種子・屋久	31	29	18	18	18
奄美諸島	7	8	16	12	18
甌島	—	—	1	—	—

### (3) 本県インバウンドの状況

#### ① 本県の外国人国別の延べ宿泊者数

(単位：人)

国名	H21	H22	H23	H24	H25
韓国	24,020	60,620	35,520	45,370	44,910
中国	3,330	8,220	6,890	10,820	11,880
香港	7,990	4,930	4,900	9,920	11,810
台湾	11,660	21,670	14,630	45,240	75,470
その他	20,540	30,560	23,340	26,770	42,530
合計	67,540	126,000	85,280	138,120	186,600

※従業員10人以上の宿泊施設が対象

#### ② 九州各県の外国人の延べ宿泊者数

(単位：人)

県名	H21	H22	H23	H24	H25
福岡	374,830	617,250	543,350	695,130	866,710
佐賀	27,060	38,320	36,260	39,630	55,250
長崎	216,700	360,990	248,900	280,130	355,670
熊本	190,810	331,320	242,140	294,450	412,090
大分	172,500	363,160	328,140	286,850	382,440
宮崎	42,930	64,040	38,590	139,520	134,840
<b>鹿児島</b>	<b>67,540</b>	<b>126,000</b>	<b>85,280</b>	<b>138,120</b>	<b>186,600</b>

※従業員10人以上の宿泊施設が対象

### (4) 海外からのプロスポーツチームの本県におけるキャンプ実績

区分		チーム名(いずれも韓国)	キャンプ地	実人員(人)	延人員(人)		
H24	春	釜山ロッテジヤイアンツ	鹿児島市	125	3,485		
	秋		日置市				
	春	サッカー	FCソウル			94	1,455
			水原三星ブルーウィングス				
H25	春	釜山ロッテジヤイアンツ	鹿児島市	252	7,382		
	秋						
	秋	野球	ネクセンヒーローズ			日置市	
			SKライパース			薩摩川内市	
	秋	サッカー	FCソウル			霧島市	43

### 3 海外との文化・芸術，青少年の交流促進

#### (1) 霧島国際音楽祭の外国人講習生の状況

(単位：人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H12(第21回) からの総数
韓国	4	19	15	2	19	143
台湾	8	6	11	9	12	94
香港	1	1	1	1	2	25
シンガポール	2	2	2	2	2	25
その他	3	4	3	6	5	49
計	18	32	32	20	40	336

\* S55 霧島国際音楽祭開始，国内外の著名演奏家による公演や講習会を毎年開催

#### (2) 青少年の交流事業

##### ① 鹿児島県青少年海外ふれあい事業（開始 H14 ～）

###### ア 概要

香港・シンガポールの青少年の受入及び本県青少年の両国への派遣を通し，国際的感覚やふるさとを愛する心を醸成するとともに，次代の鹿児島を担う青少年リーダーを育成する。

###### イ 実績

(単位：人)

	H22	H23	H24	H25	H26
派遣	15	—	15	—	15
受入	15	8	15	20	15

##### ② 環黄海青少年派遣事業（開始 H24 ～）

###### ア 概要

環黄海経済圏の中心地であるソウル，上海，台北に本県青少年を派遣し，次代の鹿児島の産業・経済界をリードする国際的な人材の育成を行う。

###### イ 実績

(単位：人)

	H24	H25	H26
派遣	62	90	93

### (3) 清華大学との交流

#### ① 包括協定 (MOU)

ア 締結日：平成25年8月29日

イ 協定内容： ○未来に向けて手を携える真の友情を構築するため、人材と情報の交流を促進する。

○東アジアの繁栄に寄与するため、多様な分野における交流を促進し、双方の連携強化を深める。

- ・次代を担う若者同士の理解と友情をさらに深めるため、双方の青少年学生交流を積極的に促進する。
- ・双方の人材育成や学術・技術交流を促進するため、あらゆる人材交流の機会の創出に努める。
- ・双方の教育・産業分野における協力を促進し、幅広い人的ネットワークの構築や双方の連携強化に努める。

#### ② H26年度事業

分野	事業名	実績
青少年 学生 交流	清華大学留学支援 奨学金交付事業	・清華大学への留学生3人に、奨学金を支給 (計900千円)
	中国語研修プログラム事業	・県内の高校生及び教員8人を中国語等の短期研修に派遣
	清華大学との学生 交流事業	・清華大学生等5人を招へいし、本県の大学生との交流等を実施
学術 交流	医療交流事業	・清華大学医学部の教授等5人を招へいし、医療分野の交流を実施
	文化芸術交流事業	・県内の芸術家等7人を派遣し、文化芸術分野の交流を実施
経済 交流	鹿児島ビジネスニューリー ダー育成事業	・県内の若手経済人等44人を派遣しビジネス交流を実施

## 台湾，香港における現地調査の概況

### 【行 程】

年 月 日	調 査 先
H26年8月 5日	霧島国際音楽祭台湾公演記念レセプション
H26年8月 6日	汎佳旅行社，交流協会台北事務所，霧島国際音楽祭台湾公演
H26年8月 7日	J E T R O 香港事務所，県香港事務所
H26年8月 8日	香港中文大学，J N T O 香港事務所，E G L ツアーズ旅行社

### 【主な調査内容】

#### (汎佳旅行社)

鹿児島台湾直行便就航以来，南九州を中心に送客を行っている台北市の汎佳旅行社を訪問し，これまでの旅行商品造成の取組等について調査した。



#### (霧島国際音楽祭台湾公演等)

霧島国際音楽祭台湾公演記念レセプションに出席するとともに，同音楽祭を鑑賞し，音楽祭の認知度向上や誘客促進の取組等について調査した。



#### (香港中文大学)

毎年，本県を含め日本への学生派遣を行っている香港中文大学を訪問し，これまでの交流の取組や課題等について調査した。



#### (E G L ツアーズ旅行社)

香港から日本への送客最大手のE G L ツアーズ旅行社を訪問し，鹿児島香港線を活用したツアーの状況や香港人の旅行嗜好等について調査した。

